

## 栽培マニュアルに記載のない畑わさび虫害の発生事例

### 1 はじめに

畑わさびの病害虫については情報が少なく、適用できる登録農薬も少ないのが現状です。

畑わさび栽培地の巡回指導の際に、栽培マニュアルの記載が見当たらない虫による葉の食害が確認されたことから、遠野農林振興センターでは、加害種を同定し栽培者に情報提供したのので、その内容を報告します。

そこで、形態等を観察して捕獲した加害種を同定し、今回発生した害虫については、適用できる登録農薬がないことから、捕殺による被害回避とするよう、令和3年度に一関市と奥州市に設定した試験圃場の管理栽培者等あてに情報提供し、注意を促しました。

#### 今回確認された加害虫

加害虫	特徴等
クワゴマダラヒトリ	6月15日に発生を確認。幼虫は極めて広食性で、梅に寄生したものが落下し、わさびを食害したものと推測。
カブラハバチ類	7月5日に発生を確認。アブラナ科の植物を食害することが知られている。
ナガメ	7月29日に発生を確認。アブラナ科の植物を吸汁することが知られている。

### 2 害虫の種類と情報提供

今回(令和4年6月~7月)確認された加害虫3種はいずれも葉に寄生しており、畑わさび栽培地の巡回時に葉の摂食等が確認されました。



クワゴマダラヒトリ



カブラハバチ類



ナガメ

### 3 今後の取組

引き続き、こうした事例を集積し、栽培管理の参考としていきます。